

城取博幸の
山口市の歴史

N0132

2002年10月

城取フードサービス研究所

城取 博幸

山口市の歴史

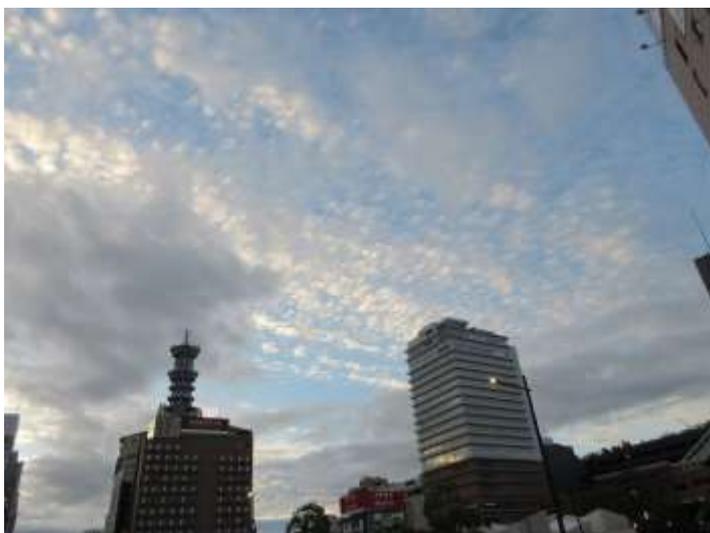
フランシスコ・ザビエルの足跡

[山口の「山口ザビエル記念聖堂」](#)

2020-10-07 16:58:26

大分から山口へ

まだ薄暗いうちに大分駅を出発 山口までは電車で3時間ほどかかる



今回のテーマは「ザビエルの道」と「山口の歴史」



なぜ、山の上に「USA」

宇佐(うさ)と読む



小倉駅に到着

ここから新幹線で「新山口」へ



新山口駅



普通列車に乗り換えて「山口駅」へ



山口駅に到着



駅構内の案内所で観光案内をもらう



山口の観光案内



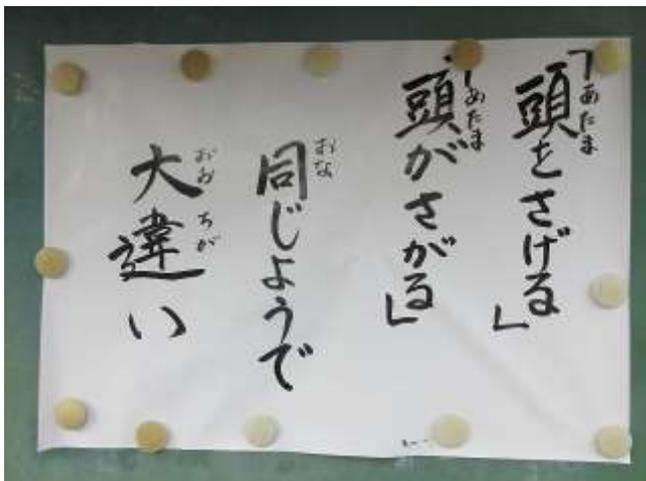
駅前のこんな道を歩く



路ばたの花



お寺の入口に書かれた書



2本の塔が見えてきた

そこが「山口ザビエル記念聖堂」 焼却炉のようにも見える



ザビエル記念聖堂 拝観時間 9時～17時と書かれている



途中のマリアの像を見ながら坂道を登る



これがザビエル記念聖堂



ザビエルと井戸

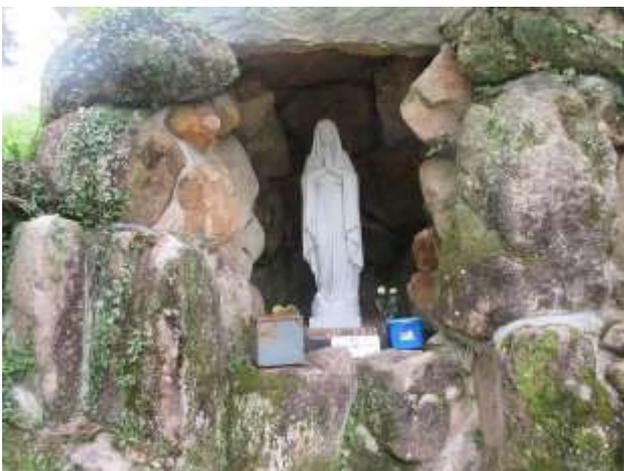


井戸の前で説教をした

ルルドは南フランスのピレネー山脈の有名な巡礼地



ろうソクが見える



左の箱に賽銭を入れてろうソクを灯す

クリスチャンでもなくせに 誰も真ん中にろうソクを置かない

気のせいか、マリア様の目が冷たく見ているように感じた



塔につけられた9つの鐘は平和と幸せを告げるメッセージが刻まれている

聖堂内に入ろうとすると、コロナの影響で立入禁止だと言われる
入口の案内版には書かれていない
遠くから来たのだからと、少しだけ中を見させていただいた
クリスチャンでもなくせに



仕方ないのでみやげも屋で本を買う



ザビエルの足跡



説明文



この碑は



大内義長の「歳許状」

大内家と大友家の関係 大内義隆の庇護により山口でキリスト教の布教を許可した
 義隆の死後、豊後から大友義鎮の弟義長を迎えて大内氏を継がせた 義長は豊後でザビエルに
 会っていたので、早速「歳許状」を与えた 山口に日本最初のキリスト教会が建設された



さらに

こんな道を歩いて「ザビエル公園」に向かう
ザビエル記念聖堂からザビエル公園は遠い



ここが「聖ザビエル記念公園」



ヴァリオン神父銅像

フランス人で、ザビエルのキリスト教布教地である大道寺跡を後世に伝えた人物





ザビエルの故郷であるスペインのパンプローナ市と山口市は 1980 年、姉妹都市を締結
450 年の時を経てザビエルの想いは今も生きている



裏側



ハビエル家の家紋



これは



よく読めない



歴史ある大木



ザビエルルート

ザビエルが生まれた「スペインハミエル城」、ザビエルがキリスト教を学んだ場所「チェコ カレル橋のザビエル像」、ザビエルのミイラがある「インドゴア」、右手が保存されている「ローマジェズ協会」、ザビエルの死体を一時保管した「マレーシアマラッカ」、日本で布教を行った「鹿児島」、「大分」、「山口」を訪れた

クリスチャンでもなくせに

しかし、まだ行ってない場所はザビエルが亡くなった中国「上川島」

ハミエル城

スペインパンプローナはサンセバスチャンから車で約3時間

電車やバスの便は悪い



ザビエルが生まれた城
中は博物館になっている

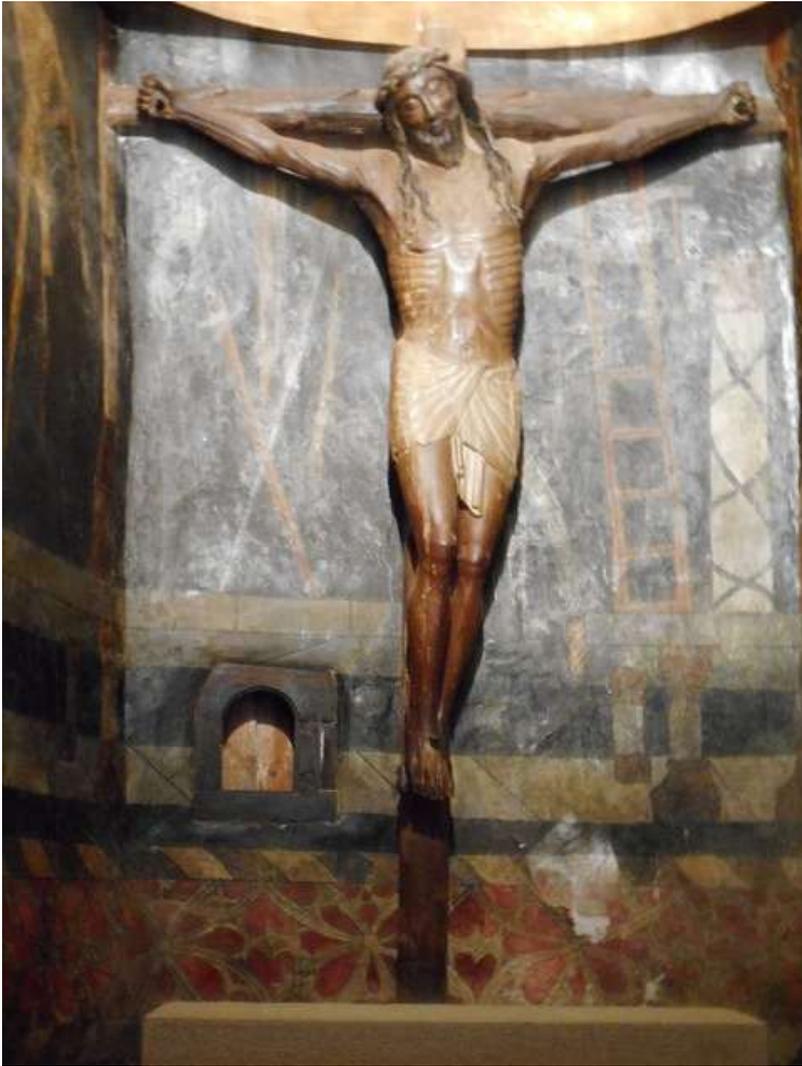
2018年10月訪問 年間500人くらいの日本人が訪れると言っていた



ハミエル家家紋



キリスト像



笑っているキリスト像は珍しい



ザビエルの生涯のジオラマ



ザビエルの「ロヨラ・イグナチオ」との出会い



日本に到着し移動をする様子ジオラマ



このジオラマの城が分からない

天守が見えるが、大分「臼杵城」なのか、それとも山口の「高嶺城」なのか

当時の高嶺城は砦であり、天守はなかったとボランティアは言う

改修は毛利氏の時からだという

これを確認したかったが



ザビエルの一行



中国上川島にて逝去

ザビエルはマカオも中国大陸にも上陸していない



これもハミエル城の展示品

「祈通日本信徒其宗徒聖人願成就事」と書かれている

正しい理解ができない



掛け軸「大内義隆王国」のように読める



布教様子が書かれた掛け軸 シミがひどい 他にも何品か展示されている



山口も歴史が深く調べるのに時間がかかる
今回は「ザビエルの通った道」にテーマを絞った
クリスチャンでもなくせに
「明治維新」関係まで足を突っ込んだら時間が全く足りない
萩はまた時間をとってゆっくりと行くつもりだ
次回は山口観光と山口の食事を紹介します

山口市観光～帰京

2020-10-11 17:02:5

山口県立博物館

山口ザビエル記念聖堂から歩いてすぐ



恐竜展を開催



恐竜の骨



明治維新関係

伊藤博文と木戸孝允(たかよし)

ここあまりゆっくり見ている時間がない



萩市 松下村塾のジオラマ

ここはまたの機会に



内部

畳はプリントで土足で中に入ることもできる

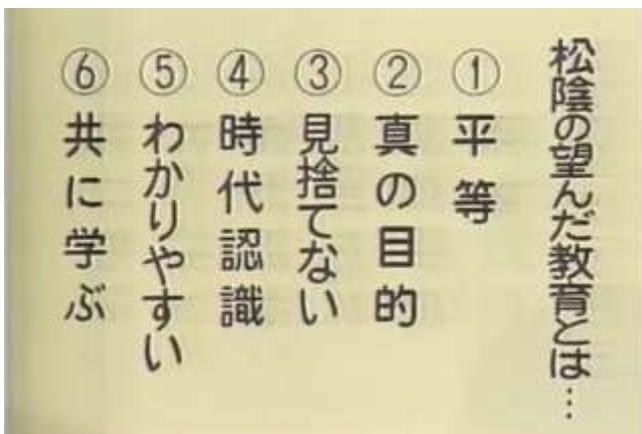


テレビ 知ってるつもり「吉田松陰」(ユーチューブから)



松陰の望んだ教育とは……………

今でも通用する



吉田松陰は、西郷隆盛、坂本龍馬にも影響を与えた

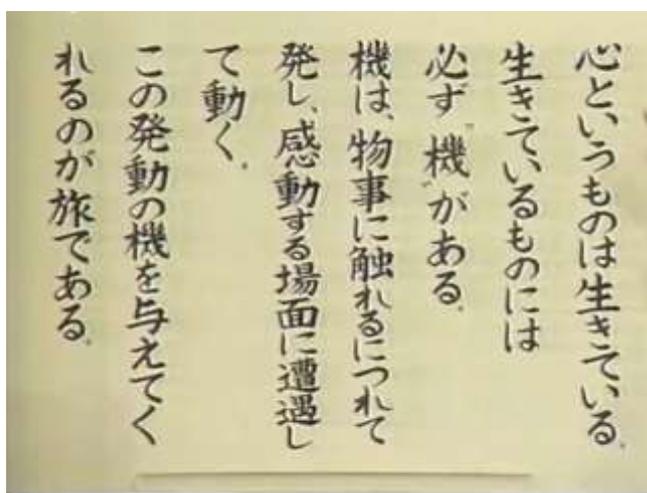


塾生には、初代内閣総理大臣「伊藤博文」、内務大臣「品川弥二郎」



松陰の言葉

頭だけで考えていても「機」はないということだ



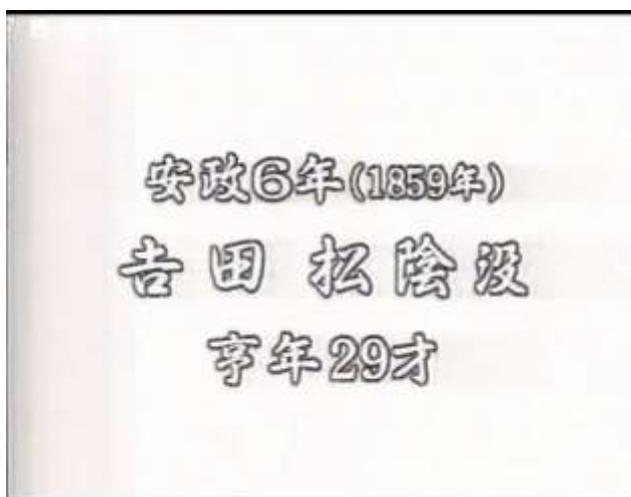
松陰の旅
これはスゴイ



しかし、安政の大獄で



29歳の生涯を終えた
若すぎる



香山公園へ

山口市内には城跡らしきものがない それだけ戦国時代は平和であったということ



石垣



大内弘世像 像の奥に注目 雲が割れた



大内家の家紋

ボランティアの話によると、「家紋に十字架が隠されている」のではという
私は、「武田菱(安芸武田)の家紋に十字を足したように見える」と主張



国宝 瑠璃光寺五重塔

1442年の建築で、日本で10番目に古いという



日本三名塔 奈良法隆寺、京都醍醐寺、山口瑠璃光寺



説明文



堀の蓮



蓮の花



この建物は？

中に入ることができる



「沈流亭」「露山堂」 明治維新史跡 志士会合の場所



1867年、坂本龍馬の仲介で、薩摩の西郷隆盛、大久保利通と長州の木戸孝允らが、薩長連合に関して協議を行ったところ「この建物は、山口の旧家安部家の離れ」と書かれている元総理の安倍晋三さんとの関連を調べたが、安部さんの本籍地は日本海側の長門市あべの漢字も違う



時代の変革、うねりは、この地から



近くのそば屋で昼食



そば寿司が気になる



そば寿司定食



そばの太巻寿司

普通は、ゆでそばにだしと寿司酢で薄く味をつけてから水気を取る



そばと海苔の間に玉子焼き



そば菓子とそば湯



道の反対側のカフェ



瓦そば 山口県下関市豊浦町発祥の麺料理
似たものは他で食べたことがあるため、また現地で



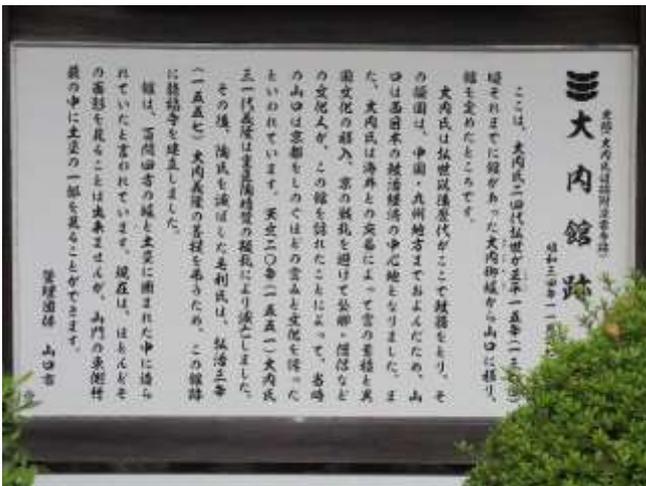
龍福寺参道



龍福寺は大内氏館跡



案内版



オリーブの木に実がなっている



2時台の電車で同じコースで大分まで帰る
駅弁「無法松おこわべんとう」



好みの弁当だ



大分で一泊して、大分空港から羽田空港へ
写真はANAだが、JALを利用



空港のレストランで「しいたけ丼」を注文



大分はしいたけの産地 この味噌汁は信州みそのようだ



たまねぎ、味付けされたしいたけを玉子でとじた丼

松前の「岩のり丼」のような素朴な丼だ



しいたけの味付けがみな同じなのが残念 スライスとホールの味を変えて欲しかった



EMPTY DISHES



以上、宮崎、大分、山口特集は終わり
山口市内を歩いたがスーパーマーケットは見かけなかった
明治維新遺跡は、萩に行ってじっくり研究したい